

## 愛臨技学部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：平成 28 年 12 月 25 日 報告者：小木曾 美紀

行事種別	講演会	行事番号	160022775	
開催日	平成 28 年 12 月 17 日 (土)			
時間	開始	15 時 0 0 分	終了	17 時 30 分
場所	名古屋第一赤十字病院 パースセンター (所在地 名古屋市中村区道下町 3 丁目 35 番地)			
テーマ	輸血副作用について考えよう！！			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	日進おりど病院 小木曾 美紀 技師			
講師	<p>講演 1：「輸血副作用とは？」 知多厚生病院 山本 喜之 技師</p> <p>講演 2：「ベッドサイドでのモニタリングについて」 藤田保健衛生大学病院 高木 里枝 看護師</p> <p>特別講演：「ヘモビジランスについて」 愛知医科大学病院 加藤 栄史 教授</p>			
内容	<p>輸血副作用をテーマとして、臨床検査技師、看護師、医師のそれぞれの立場から副作用についてアプローチすることで、輸血医療の安全対策について考える機会とした。また講演会終了後に参加者全員へアンケートを行った。</p> <p>講演 1 『輸血副作用とは？』は、輸血に伴う副作用の概要について症状項目や診断について解説を行った。そして輸血管理部門が行うべきこと、また発生時の検査項目について説明して頂いた。臨床検査技師の立場から輸血副作用について知っておくべき基礎知識について詳細に解説していただいた。</p> <p>講演 2 『ベッドサイドでのモニタリングについて』は、藤田保健衛生大学病院での輸血に携わるまでの看護師の教育システムについて説明頂いた。また実際の看護師業務について、製剤の取り寄せから輸血実施までの過程と注意すべきポイントについて実際にあったインシデント症例を交えながら具体的に説明いただいた。そして副作用発生時の対応、支援体制について説明いただき、認定輸血看護師の方から看護師の業務内容、輸血療法への取り組みについて具体的な話を聞くことができ、非常に有意義な内容であった。</p> <p>特別講演『ヘモビジランスについて』は、ヘモビジランス (Haemovigilance : 血液安全監視) とはなにか、目的について基本的な部分から解説していただき、日本赤十字社へ報告のあった副作用についてまとめ、その原因を分析評価することで、保存前白血球除去の導入や初流血除去が導入されていった経緯についての解説とその後の評価について説明して頂いた。またアレルギー副作用対策として洗浄血小板が新たに認可されたことについて解説して頂いた。最後に将来のヘモビジランスについてトレーサビリティを確保したシステム作りについて説明頂いた。ヘモビジランスを取り纏めている加藤教授から直接講演を頂き、我々が行っている副作用報告がどのように活かされているのかまた今後の展望について理解することができた。</p>			
参加者	総数：83 名 (会員 72 名、賛助会員 8 名、その他 2 名、県外 1 名)			
共催、後援など				